

## ● 計画の成果指標と目標値

基本目標	目標（成果）指標	現況値 令和5年度 (2023年度)	目標値 令和10年度 (2028年度)
いかす 	シェアサイクルポート数（公・民合計 延べ）	65 箇所	75 箇所
	駅やバス停周辺におけるシェアサイクルポート数（延べ）	14 箇所	19 箇所
	自転車による健康づくりの周知啓発回数（年間）	—	5 回
	通勤・通学で主に自転車を利用する人の割合	38.6%	41%
	「サイクルサポーター制度」認定施設数（延べ）	—	25 施設
	サイクリングマップの更新回数（計画期間中）	—	5 回
まもる 	交通安全教室開催回数（年間）	42 回	46 回
	啓発活動開催回数（年間）	19 回	21 回
	子ども自転車教室開催回数（年間）	13 回	14 回
	自転車用ヘルメット着用率	15.3%	30%
	自転車損害賠償保険加入率	72.3%	79.4%
	自転車安全点検教室開催件数（年間）	1 回	2 回
はしる 	自転車通行空間整備総延長（延べ）	12.83km	17.18km
	不法放置車両撤去率（年間）	100%	100%
	安全対策が必要な危険箇所（※）	9 箇所	0 箇所
とめる 	子ども乗せ自転車等の多様な自転車の収容台数（延べ）	1,178 台	1,450 台
	基準に適合した敷地内駐輪場を有する開発の割合（年間）	100%	100%
	市営自転車駐車場の一時利用件数（年間）	812,630 件 (R4 決算値)	837,000 件
	市内の放置自転車が多いと感じる人の割合	11.3%	11.3% 以下
	リサイクル自転車販売回数及び売却回数（年間）	8 回	8 回

※第5期埼玉県通学路整備計画（R4～R8）において、自転車通行時に危険と報告された箇所

## ● 計画の推進体制とフォローアップ

本計画の推進にあたり、市民、団体、企業、行政等が連携を図りながら、施策を展開します。また、PDCA サイクルにより目標の達成状況の進捗管理を行い、施策の取組状況の把握や目標指標の達成度を検証するとともに、最終年度の令和10年度（2028年）に評価を行い、次期計画に反映します。

令和6年3月

発行：  戸田市 都市整備部 都市交通課

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1-18-1  
電話：048-441-1800 FAX：048-433-2200  
E-mail：tosi-kotsu@city.toda.saitama.jp



【概要版】

# 戸田市バイシクルシティ推進プラン

（戸田市自転車活用推進計画）



## ● 計画策定の背景と目的

戸田市は、市域がコンパクトかつ平坦な地形であり、市内の移動手段として自転車が盛んに活用されています。

※自転車分担率 **埼玉県内1位**（第6回東京都市圏パーソントリップ調査より）

一方で、自転車関連事故は、減少傾向にあるものの、依然として多く発生しており、安全な自転車通行空間の整備や自転車ルール・マナーの向上、駐輪環境の整備などが課題となっています。

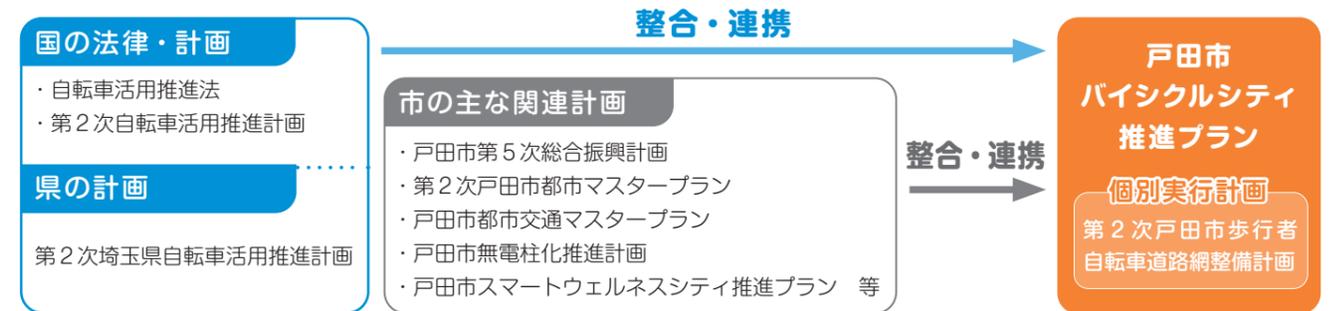
自転車は便利だけでなく、健康増進や環境負荷の低減・地域振興・災害時利用などの多様な分野においてその可能性が注目されており、全国的に「自転車を活用したまちづくり」が進められています。

このような背景を踏まえ、SDGsの目標達成に貢献するとともに、誰もが安心・快適に自転車を利用できる環境整備をハード・ソフトの両面から総合的かつ計画的に推進していきます。

## ● 計画期間

令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）まで

## ● 計画の位置づけ



## 自転車利用の現状

- 自転車は近距離移動では最も早い交通手段であり、健康増進に有効で環境にもやさしく、災害時に機動的。
- 市内間や隣接市との移動において、年代を問わず、主に「通勤・通学」や「買い物」で自転車利用が多い。
- 第2次戸田市歩行者自転車道路網整備計画に基づき、自転車通行空間の整備を進めている。
- シェアサイクルポート数や利用者数は、実証実験開始当初から2.5～3倍となり、さらなる利用意向もある。
- 放置自転車は減少傾向であり、駅前自転車駐輪場にも余裕がある一方で、混雑状況に偏りが見られる。
- 運動習慣のある市民が多い一方で、健康寿命は県平均を下回っている。
- 自転車関与事故の件数は減少傾向だが、自転車ルールの遵守率が低く、安全意識のさらなる醸成が必要。

## 課題の整理

### 自転車活用推進に関する課題

交通手段としての自転車の利便性向上を図るとともに、自転車活用に向けた情報発信やサイクリング環境の整備が必要。

### 自転車の安全・安心に関する課題

世代や国籍を問わず、自転車のルールやマナーの重要性を周知する機会を創出するとともに、自転車の安全利用を促すことが必要。

### 自転車の通行環境に関する課題

無電柱化と併せた効率的でより快適な自転車通行空間の整備を進めるとともに、路上駐車や危険箇所への対策を講じる必要がある。

### 自転車の駐輪環境に関する課題

利用者の分散による快適な駐輪環境を創出するとともに、路上駐輪の防止を図ることが必要。



# 目指すべき将来像・基本目標と具体的な施策

本市の自転車利用に関する現状と課題を踏まえ、市民や来訪者が安全・安心で快適に自転車利用をできるまちづくりを進めることで、「このまちで良かった」と思う人が増えることを目的として、目指すべき将来像及び計画の基本目標を以下のとおり定めます。

## 目指すべき将来像 **安心・快適 水と緑のスマートサイクルシティ 戸田**



### 基本目標1 **いかにす** ~自転車を活用しやすい環境づくり~

#### ●施策1 自転車利用の利便性を高める交通環境づくりの推進

- 取組1 シェアサイクルの普及促進
- 取組2 公共交通機関との接続性の向上

#### ●施策2 自転車の日常利用を促す取組の推進

- 取組3 自転車を活用した健康づくりの推進
- 取組4 自転車通勤等の促進
- 取組5 災害時における自転車利用の推進

#### ●施策3 自転車を活かした地域活性化の推進

- 取組6 サイクリング環境の充実
- 取組7 サイクリングマップによる情報発信

#### Pick UP!

鉄道やバスなどの公共交通機関を補完するラストワンマイルの交通手段として、また市民や来訪者の誰もが気軽に自転車を利用して市内を周遊することで、地域の活性化や環境にやさしいまちづくりを図るため、シェアサイクルのさらなる普及を促進します。



公共用地上に設置されたシェアサイクルポート



### 基本目標2 **まもる** ~自転車の安全利用に向けた意識を高める環境づくり~

#### ●施策4 自転車ルール・マナーの向上に向けた意識醸成の推進

- 取組8 多世代に向けた自転車安全教育の推進
- 取組9 自転車等のルール・マナーに関する周知・啓発の推進
- 取組10 子どもを対象とした安全な自転車の乗り方やルールを学ぶ機会の創出
- 取組11 自転車利用者に対する指導・取締り強化の要請

#### ●施策5 自転車利用時の安心感・安全性を高める取組の推進

- 取組12 自転車用ヘルメット着用の推進
- 取組13 自転車損害賠償保険への加入促進
- 取組14 手軽に点検整備できる環境の充実

#### Pick UP!

自転車用ヘルメット着用促進補助金制度により、市民の方々に自転車用ヘルメットの購入を補助するとともに、自転車事故において致命的な怪我を軽減させるため、自転車用ヘルメット着用の安全性について、チラシ配布による啓発活動やホームページ等での周知により着用を推進します。



自転車用ヘルメット着用促進補助金チラシ



### 基本目標3 **はしる** ~自転車が安全・快適に走行しやすい道路環境づくり~

#### ●施策6 安全・快適に自転車が走行できる道路環境整備の推進

- 取組15 無電柱化等を踏まえた自転車通行空間の計画的な整備と維持管理
- 取組16 路上駐車削減に向けた取組の推進
- 取組17 自転車通行危険箇所の把握と対策の推進

#### Pick UP!

自転車利用者が安全・快適に走行できるよう、第2次戸田市歩行者自転車道路網整備計画に基づき、優先的に整備を行う必要がある路線について、無電柱化の整備計画を踏まえながら自転車通行空間の整備を計画的に進めます。また、併せて自転車利用時に危険と感ずる交差点において、安全対策を実施します。



整備済みの自転車通行空間と交差点強調による安全対策



### 基本目標4 **とめる** ~自転車をとめやすい駐輪環境づくり~

#### ●施策7 誰もが利用しやすい市営自転車駐車場運営の推進

- 取組18 地域のニーズを踏まえた利用環境の最適化
- 取組19 施設条件や目的に対応した利用料金の検討

#### ●施策8 駐輪需要に応じた駐輪スペースの確保と利用の促進

- 取組20 駐輪需要を生じさせる施設等における自転車駐車場の整備促進
- 取組21 駅周辺駐輪場の利用促進に向けた周知・広報の推進

#### ●施策9 放置自転車のない快適な通行環境確保の推進

- 取組22 放置自転車の抑制に向けた取組の強化
- 取組23 放置自転車の活用推進

#### Pick UP!

子ども乗せ大型自転車や電動自転車、スポーツ自転車など、多様な車種に応じた専用駐車スペースの確保を推進するとともに、安全・快適に自転車駐車場を利用することができるよう、現状よりも利用しやすい入退場ゲートやサイクルラックの導入など、さらなる利便性の向上に向けた場内設備の改修について検討を進めます。



多様な車種の専用駐車スペース